

「ビジネス基礎」シラバス

学科	商業科	学年	1年	類型		組	5組	単位数	2
使用教科書	ビジネス基礎 (東京法令出版)								
副教材等	ビジネス基礎 ワークブック (東京法令出版) 全商商業経済検定模擬試験問題集 3級ビジネス基礎 (実教出版) 全商ビジネス計算実務検定模擬テスト 1級 (東京法令出版)								

1 学習の到達目標

① ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解する。また、ビジネスに関連する技術を身に付ける。 ② ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ③ ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と 100 点法の評価をする。学年末において、観点別評価を 5 段階の評定に総括する。

知識・技能	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解している。また、ビジネスに関連する技術を身に付けているか。	(1)(2)(6)(11)
思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力が養われているか。	(1)(2)(4)(5)(7)(8)(9)
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。	(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)
評価方法	主な評価項目	
ペーパーテスト	(1)定期考査 (2)小テスト	
学習状況の観察	(3)自己評価の実施 (4)授業中の活動状況等	
課題の提出状況	(5)課題等の提出状況 (6)ノート・問題集の提出状況	
言語活動の観察	(7)ワークショップなどへの取組状況	
社会人活用事業	(8)レポート提出 (9)発表の様子	
検定試験	(10)検定の取組状況 (11)検定試験や模擬テストの得点	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	第1章 商業の学習とビジネス 1 商業を学ぶ重要性和及び方 2 ビジネスの役割 3 ビジネスの動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・商業の学習及びビジネスの概要について理解する。 ・商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展と関連付けて見いだす。 ・ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。 	(7)(8)(9)
	第3章 経済と流通 1 経済の基本概念 2 流通の意義と役割 3 ビジネスの諸活動	<ul style="list-style-type: none"> ・経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解する。 ・経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案する。 ・経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に主体的かつ協働的に取り組む。 	(7)(9)
二 学 期	第6章 取引とビジネス計算 1 売買取引の方法 2 代金決済の方法 3 電子商取引と代金決済 4 計算用具の歴史 5 ビジネス計算の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・取引とビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案する。 ・取引とビジネス計算について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組む。 	(7)
	第4章 企業活動 1 企業の形態と組織 2 企業のマーケティング活動 3 資金の管理と調達 4 財務諸表の役割 5 企業活動に対する税 6 雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解する。 ・企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案する。 ・企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組む。 	(7)(8)(9)
	第5章 身近な地域のビジネス 1 身近な地域の課題 2 身近な地域のビジネスの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域のビジネスについて理解する。 ・身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考案して実施し、評価・改善する。 ・身近な地域のビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組む。 	(7)(8)(9)
三 学 期	第2章 ビジネスに対する心構え 1 信頼関係の構築 2 良好な人間関係とコミュニケーション 3 情報の入手と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに対する心構えについて実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・ビジネスの場面を分析し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスにおいて他者に対応するとともに、情報を入手して活用し、評価・改善する。 ・ビジネスに対する心構えについて自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。 	(7)(9)

備考 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(10)(11)については、全ての単元において評価項目として用いる。